

令和2年度仙台市科学館特別展（案）について

- 1 名称 視覚と錯視（仮）
- 2 趣旨 子どもから一般を対象に、鏡と錯覚をモチーフにした不思議体験展示により、人間の感覚をまどわす現象について、見て、触れて、感じるができる内容とする。特に、錯視について紹介し、見ることと見えることといった現象やそのしくみについて科学的な視点で紹介する。また、それらのしくみが生活の中でどのように生かされているのかについてもあつかう。展示は解説パネルのほか、実物、映像、体験装置等により、体験しながら学べる展示内容とする。
- 3 主催 仙台市教育委員会（仙台市科学館）
- 4 協力 未定
- 5 開催期間 2020年7月18日（土）～同8月23日（日）【開館：33日間】
休館日：7月20日（月）、27日（月）、8月3日（月）、17日（月）
- 6 会場 スリーエム仙台市科学館：特別展示室、エントランスホール
- 7 内容
 - （1）見えるしくみ （錯視とは、錯視のしくみ、錯視と脳）
 - （2）ふしぎな錯視の世界 （いろいろな錯視、錯視パネル、変身立体）
 - （3）ゴーストの部屋 （幽霊写真、ふしぎなマスク、ふしぎな絵）
 - （4）ふしぎな舞踏会 （回転錯視シアター）
 - （5）ふしぎな香りガーデン （嗅覚、香りの引き出し）
 - （6）ふしぎな手ざわり （触覚とは、ふれる体験）
 - （7）立体錯視の世界 （展示内容 3Dアート）
 - （8）ワークショップ （ワークショップ等）
 - （9）その他 入口スロープ鏡の回廊、製作・体験、3Dシアター、錯視サイン（誘導表示）
- 8 関連イベント（検討中）
 - （1）講演…錯視関係研究者（調整中）
 - （2）体験…エントランス拡大錯視、ワークショップ（透身立体錯視工作）
 - （3）連携…大学、研究機関、企業等との連携
 - （4）特典…ノベルティ配付（缶バッジ、カード等）
 - （5）同時開催…4Dシアター（4D王）

9 レイアウト案 (2階特別展示室)

